

井上ひさし氏
の
ことば

やさしく/深く/面白く

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



わたしは、わたしのことばで語ります。
七十年余の生涯で、わたし中にできた『世界』があって、その世界から出てくることばです。

1 足す 1 は 2 で、それはあなたとまったく同じ『考え』です。

でも、ことばについては似ているけれどあなたとそっくり同じではありません。

ですからわたしが、あなたに良かれと思って伝えることも、わたしが考える良し悪しであって、必ずしもあなたにとって良いこととは言えないこともあると思います。

☆ 1

表題に「記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません」と書いています。たどって来た生涯は平均的な生き方とは違います。だから、物事の見方・感じ方もあなたとは違うのです。

そう分かった上で、あなたに届けたいことばがあります。それが有効か無効かという以前に、耳を傾けてもらえる価値があるのか、はなはだ心もとなく感じています。

この通信は「日記の中のあなた」への独り言かも知れません。これまでも、そして、これからもそうなのです。

★ 2

井上ひさし氏は山形生まれの仙台育ち。父親に早く死なれ、東北各地を放浪の末、十五歳で仙台のカトリック系の孤児院に預けら



れ、旧制高校を経て上智大学に進みます。

彼は、文章を「やさしく/ふかく/おもしろく」書くことを心掛けた作家でした。どこかでご自分を三流と位置付け、それでも一流を小ばかにした作品を書いています。

☆ 3

わたしは教育学部を出ていない教師、お寺出身でもない僧侶、そしてまた独学でSSWや公認心理師の仕事をしてきました。

だからわたしも、どこかで三流だと思っています。そう思って一流の人たちに追いつこうとしています。

またこの数年間で、わたし自身が発達障害を持っていることを知りました。だから思うのです。「**出発点がどこであって**も、**自分で選んだ道だから歩いて行けるのだ**」と。

たとえ今、あなたの子どもが不登校状態にあらうと、自分で選び続けることで道が拓けると確信しています。